

第81期

事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



 **奥村組**
OKUMURA CORPORATION

証券コード: 1833

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社の第81期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度のわが国経済は、一部に弱さが見られたものの、海外経済の成長にともなう輸出の持ち直しや、企業収益の改善を背景とした内需の下支えなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。そのような中、建設業界においては、公共投資の底堅さや企業における設備投資の復調を受け、安定した経営環境が続きました。

当社グループにおきましては、売上高は、前期に比べ10.3%増加した223,927百万円、土木事業および建築事業の売上総利益率が改善したこと等により、売上総利益は同21.1%増加した32,765百万円、営業利益は同35.8%増加した15,853百万円、経常利益は同28.4%増加した17,275百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同11.4%増加した15,163百万円となり、当連結会計年度は売上高、各利益とも前期を上回ることができました。

なお、当期の株主配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に則り、1株当たり普通配当184円とすることにさせていただきます。

わが国経済の先行きは、生産や輸出の改善など企業部門主導により、引き続き緩やかに回復することが期待されています。建設業界においては、資材価格など建設コストの上昇が懸念されるものの、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要などにより、建設投資が底堅く推移する見通しであることから、堅調な経営環境が続くものと思われまます。

このような中、当社グループといたしましては、平成28年度を初年度とする中期経営計画に基づき、建設事業

の生産力向上・ブランド力アップおよび収益基盤の多様化に取り組んでいるところであり、堅調な事業環境と相まって徐々にその成果が表れてきています。中期経営計画の最終年度を迎えるにあたり、同計画で掲げた業績目標の達成に総力をあげるとともに、強固な経営基盤の構築を目指した取り組みを進めてまいります。

具体的には、建設事業において、合理化・省力化に資する技術開発の推進、ICTの活用やCIM・BIMの導入加速による業務の効率化、顧客へのソリューション提案力および設計力の強化、顧客ニーズに応える技術開発の推進、保有技術の洗練化などに引き続き取り組んでまいります。また、不動産事業において、良質な収益不動産の取得や保有不動産の有効活用による賃貸事業の拡大を図るとともに、事業領域の拡大に向け、戦略的に投資してまいります。

当社は、これからも創業以来貫いてまいりました経営理念を踏襲しつつ、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応して収益基盤の強化ならびに多様化を図り、株主の皆様のご期待とご信頼に応えるべく、全力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長

奥村 太加典





業績の推移

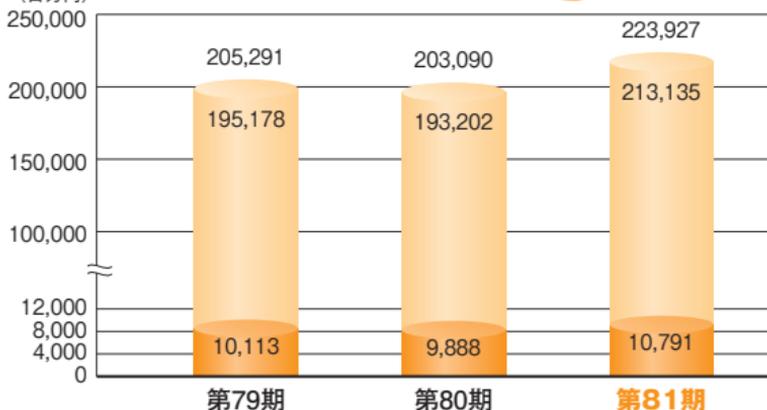
最近3連結会計年度における当社グループの売上高、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の推移

(単位 百万円)

	第79期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	第80期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	第81期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	205,291	203,090	223,927
経常利益	9,272	13,455	17,275
親会社株主に帰属する当期純利益	8,625	13,614	15,163

売上高

(百万円)

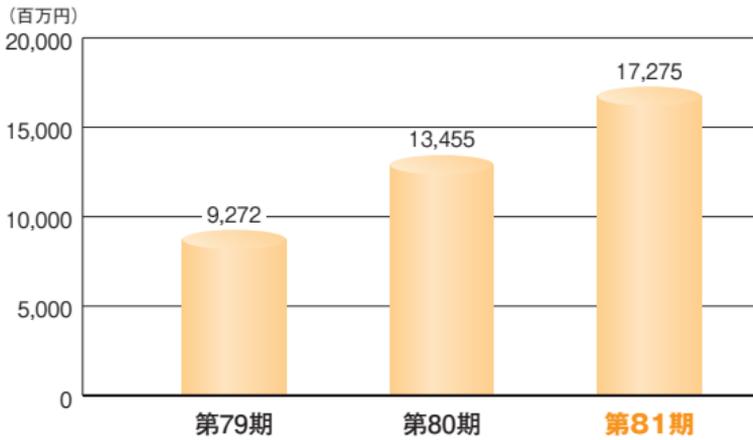


最近3事業年度における当社の受注高、完成工事高および次期繰越工事高の推移

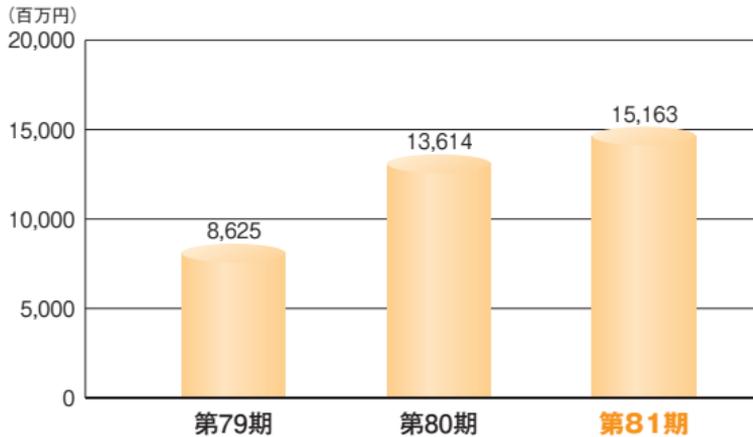
(単位 百万円)

	第79期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	第80期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	第81期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
新規受注高	222,634	242,882	202,126
完成工事高	195,178	193,202	213,135
次期繰越工事高	252,163	301,843	290,833

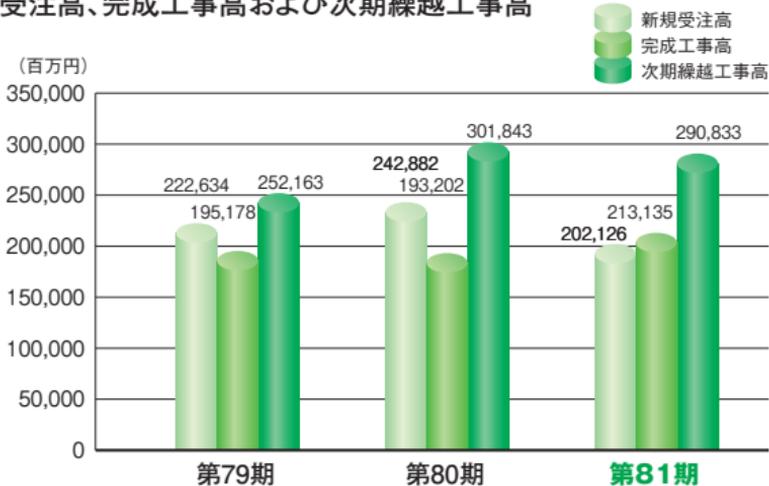
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 受注高、完成工事高および次期繰越工事高





主な完成工事・受注工事

▲ 当事業年度中の主な完成工事



▲新名神高速道路東畦野トンネル工事
(大阪府箕面市～兵庫県川西市)



▲東京二十三区清掃一部事務組合
杉並清掃工場
(東京都杉並区)



▲mapletree千葉ニュータウン
ロジスティクスセンター
(千葉県印西市)



▲国道45号津軽石道路工事
(岩手県宮古市)



▲入間川鹿飼樋管改築工事
(埼玉県川島町)



▲豊四季台団地第3期第2住宅
(千葉県柏市)



▲ザ・エンブル
七間町
(静岡県静岡市)



▲川西市中央北地区PFI事業建設工事
(兵庫県川西市)



▲中央第2貯留管築造工事
(宮城県塩竈市)



▲伊予市本庁舎
(愛媛県伊予市)



▲国際医療福祉大学
東京赤坂キャンパス
(東京都港区)



▲横浜環状北線シールドトンネル工事
(神奈川県横浜市)



▲平城宮いざない館
(奈良県奈良市)



▲大阪逸の彩
ホテル日本橋
(大阪府大阪市)

当事業年度中の主な受注工事

受注先	工事名称	工事場所
(株)南都興産	重販最終処分場拡張工事	奈良県御所市
国土交通省	国道7号大岩川トンネル工事	山形県鶴岡市
東京都	千代田幹線工事	東京都千代田区
(株)松原興産	京都駅八条口前ホテル計画新築工事	京都府京都市
(株)明治	坂戸工場新2号館建設工事	埼玉県坂戸市
(医)三和会	東鷲宮病院移転新築工事	埼玉県久喜市

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	第80期 平成29年3月31日現在	第81期 平成30年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	177,678	193,186
現金預金	43,621	45,942
受取手形・完成工事未収入金等	97,275	112,287
有価証券	14,000	10,999
未成工事支出金	6,519	5,547
その他	17,211	19,196
貸倒引当金	△949	△786
固 定 資 産	111,796	123,357
有形固定資産	42,651	45,314
建物・構築物	10,694	13,070
機械、運搬具及び工具器具備品	832	962
土地	30,735	31,250
その他	388	30
無形固定資産	262	280
投資その他の資産	68,882	77,762
投資有価証券	66,192	74,759
その他	4,831	5,064
貸倒引当金	△2,142	△2,060
資 産 合 計	289,474	316,544
負 債 の 部		
流 動 負 債	122,210	129,856
支払手形・工事未払金等	58,230	58,985
短期借入金	13,089	11,659
未成工事受入金	14,900	16,013
預り金	11,564	17,226
その他	24,424	25,972
固 定 負 債	14,305	18,963
繰延税金負債	13,011	15,708
その他	1,293	3,254
負 債 合 計	136,515	148,820
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	122,189	130,746
資本金	19,838	19,838
資本剰余金	25,329	25,330
利益剰余金	89,675	98,265
自己株式	△12,654	△12,688
その他の包括利益累計額	30,768	36,977
その他有価証券評価差額金	28,746	34,838
退職給付に係る調整累計額	2,022	2,138
純 資 産 合 計	152,958	167,723
負 債 純 資 産 合 計	289,474	316,544

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	第80期	第81期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	203,090	223,927
売上原価	176,028	191,162
売上総利益	27,062	32,765
販売費及び一般管理費	15,384	16,911
営業利益	11,678	15,853
営業外収益	1,969	1,619
営業外費用	191	197
経常利益	13,455	17,275
特別利益	168	338
特別損失	337	18
税金等調整前当期純利益	13,286	17,595
法人税、住民税及び事業税	1,432	3,239
法人税等調整額	△1,759	△807
当期純利益	13,614	15,163
親会社株主に帰属する当期純利益	13,614	15,163

連結株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 百万円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の 包括利益 累計額	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式			
当期首残高	19,838	25,329	89,675	△12,654	122,189	30,768	152,958
当期変動額							
剰余金の配当			△6,573		△6,573		△6,573
親会社株主に帰属 する当期純利益			15,163		15,163		15,163
自己株式の取得				△35	△35		△35
自己株式の処分		0		0	1		1
その他						6,208	6,208
当期変動額 合計	—	0	8,589	△34	8,556	6,208	14,764
当期末残高	19,838	25,330	98,265	△12,688	130,746	36,977	167,723

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	第80期	第81期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,108	8,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,672	△3,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,918	△6,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	△3
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	30,579	△1,472
現金及び現金同等物の期首残高	25,379	55,958
現金及び現金同等物の期末残高	55,958	54,486



財務諸表

貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	第80期 平成29年3月31日現在	第81期 平成30年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	174,557	189,015
現金 預 金	43,546	45,843
完成工事未収入金	94,014	106,107
有 価 証 券	14,000	10,999
未成工事支出金	6,519	5,547
そ の 他	17,386	21,303
貸倒引当金	△910	△786
固 定 資 産	107,805	118,968
有 形 固 定 資 産	36,752	39,448
建物・構築物	9,352	11,760
機械・運搬具	506	480
土 地	26,270	26,785
そ の 他	622	422
無 形 固 定 資 産	253	272
投 資 そ の 他 の 資 産	70,800	79,246
投資有価証券	65,463	73,956
そ の 他	7,514	7,376
貸倒引当金	△2,177	△2,086
資 産 合 計	282,363	307,984
負 債 の 部		
流 動 負 債	120,189	127,201
支 払 手 形	3,994	5,146
工 事 未 払 金	53,040	52,121
短 期 借 入 金	13,254	11,895
未成工事受入金	14,855	15,952
預 り 金	10,922	16,562
そ の 他	24,122	25,522
固 定 負 債	14,106	18,579
繰 延 税 金 負 債	12,271	14,858
そ の 他	1,834	3,721
負 債 合 計	134,295	145,780
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	119,460	127,548
資 本 金	19,838	19,838
資 本 剰 余 金	25,329	25,330
利 益 剰 余 金	86,946	95,068
自 己 株 式	△12,654	△12,688
評 価 ・ 換 算 差 額 等	28,607	34,654
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	28,607	34,654
純 資 産 合 計	148,067	162,203
負 債 純 資 産 合 計	282,363	307,984

損益計算書

(単位 百万円)

科 目	第80期	第81期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売 上 高	198,284	218,573
売 上 原 価	172,300	187,105
売 上 総 利 益	25,983	31,468
販売費及び一般管理費	14,909	16,439
営 業 利 益	11,073	15,029
営 業 外 収 益	2,278	1,848
営 業 外 費 用	194	202
経 常 利 益	13,157	16,676
特 別 利 益	168	337
特 別 損 失	338	18
税引前当期純利益	12,987	16,995
法人税、住民税及び事業税	1,370	3,110
法人税等調整額	△1,762	△810
当 期 純 利 益	13,379	14,696

株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位 百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計		
当期首残高	19,838	25,329	86,946	△12,654	119,460	28,607	148,067
当期変動額							
剰余金の配当			△6,573		△6,573		△6,573
当期純利益			14,696		14,696		14,696
自己株式の取得				△35	△35		△35
自己株式の処分		0		0	1		1
その他						6,046	6,046
当期変動額 合計	—	0	8,122	△34	8,088	6,046	14,135
当期末残高	19,838	25,330	95,068	△12,688	127,548	34,654	162,203

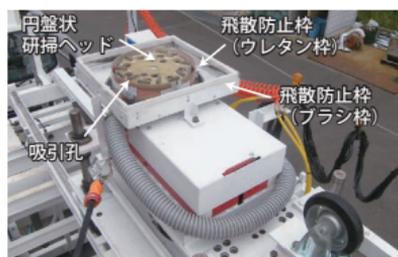


鉄道施設の補修工事に自動研掃装置を適用

インフラ施設の補修・補強工事にともなうコンクリート表面の削り取り作業の効率化を目的に開発した乾式自動研掃装置を、鉄道施設の補修工事に初めて適用しました。本装置は従来人力で行ってきたコンクリート表面の汚れや脆弱部を削り取る作業を機械化するもので、作業時間に制約がある供用中の鉄道施設の補修工事においても、粉塵等の飛散抑止による作業環境の改善を図りつつ、効率的な施工が可能となりました。本装置以外にも、目的や部位別に数種類の自動研掃装置を保有しており、補修・補強工事の生産性向上に資する技術として、積極的に展開していきます。



車載された研掃装置



ケレン機の外觀



研掃装置による施工状況

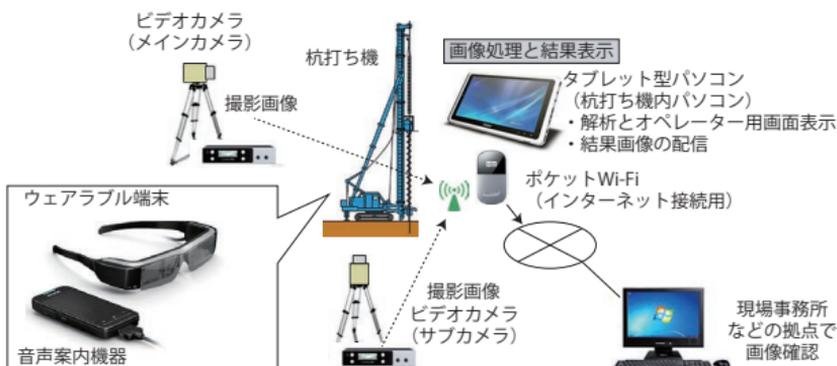
画像解析による杭の施工管理システムの開発

高速画像解析技術を応用して基礎杭の鉛直精度をリアルタイムで把握できる施工管理システムを開発しました。

本システムは、杭打ち機の掘削用ロッドを2方向からビデオカメラで撮影し、その画像データを「顔認証」などに用いられる技術を利用して高速で解析するもので、ロッドの傾斜角や掘削深度、さらには杭の曲がりを修正するための最適なロッド角度をリアルタイムに算出することができます。杭打ち機操縦者は、タブレット型パソコンやウェアラブル端末を介してこれらの情報を把握し、施工に反映させることができるため、操縦者の習熟度に左右されない高品質な施工が可能となります。



画面表示

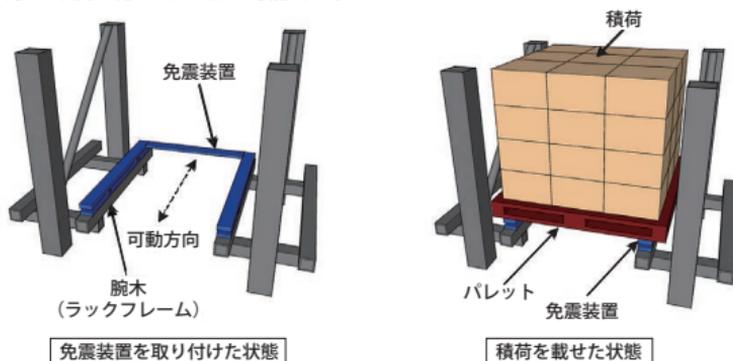


システムの全体構成

立体自動倉庫のラック地震対策技術を拡充

物流施設や工場などの立体自動倉庫において、ラック(荷棚)全体の荷物の落下を抑制する目的で開発した「ラック制震」技術の低廉化に加え、新たに個々の積荷を対象とした「パレット免震」技術を開発し、地震対策技術を拡充しました。

「ラック制震」技術では、本技術の特長であるラック脚部の制震ユニットに滑り支承を採用することで、従来の転がり支承とほぼ同等の性能を維持しつつ、費用の削減を実現しました。「パレット免震」技術は、ラックに收容される個々のパレットとラックフレームとの間に免震装置を設置するものであり、新設だけでなく既設のラックにも適用でき、重要性の高い積荷を載せるパレットに限定するなど、要求性能に応じて使い分けることが可能です。



設置イメージ

「タイル調査支援システム」を開発

外壁に用いられているタイルは、剥落すると歩行者等に危害を及ぼすおそれがあることから、定期的に全面にわたる打診等の調査が義務づけられています。従来のタイル打診調査では、現地で調査結果を手書きで記録しており、記録の整理作業を含めると多大な労力を要していましたので、調査の省力化を目的として、「タイル調査支援システム」を開発しました。

本システムはウェアラブル端末と小型のセンサーで構成されており、センサーで検知した打診棒の位置やタイルの状態などの調査結果をその場で電子情報化でき、携帯性にも優れているため、調査の迅速化・省力化を可能にします。



システム構成機器



調査作業状況(イメージ)



トピックス

大阪国際女子マラソンに協賛 ～大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援～

当社は2018年から2021年までの4年間「大阪国際女子マラソン※1」に協賛します。レースにかける選手の姿と、私たちが仕事に取り組む姿勢とが重なり共感できること。また、大阪の発展に貢献するべく取り組んできたことや女性活躍推進への取り組みからも、「大阪国際女子マラソン」を通じて、大阪の街を盛り上げたい。大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援したい。との想いを強くしたことが協賛を決めた大きな理由です。

※1 2018年より2020年東京オリンピックマラソン代表選考競技会「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)シリーズ」の一つとして、注目を集めています。

大阪国際女子マラソン専用Webサイト

<http://www.okumuragumi.co.jp/osaka-marathon/>



第37回大阪国際女子マラソン

TVCM制作 ～企業メッセージ「建設が、好きだ。」を表現～

当社は創業以来初となる企業CMとして、コンセプトCM「建設が、好きだ。」編(30・60秒)、シリーズCM「建設LOVE 奥村くみ」編(全4話(各30秒))を制作し、当社が協賛する「第37回大阪国際女子マラソン」(2018年1月28日(日)開催)の番組内でオンエアしました。また、2018年2月6日からはテレビ東京系列「日経スペシャル ギアの夜明け」に提供を開始しました。



「建設が、好きだ。」編

CMは、「堅実経営」と「誠実施工」を信条に、建設の仕事に真摯に向き合ってきた当社の情熱を「建設が、好きだ。」という企業メッセージで表現しています。楽曲には、シンガーソングライター・竹原ピストルさんの作詞・作曲による書き下ろしオリジナル曲『いくぜ！いくか！いこうよ！』を使用。シリーズCM「建設LOVE 奥村くみ」編では、当社が施工する物流センターやトンネルの建設現場などを舞台に、映画やドラマで活躍し、その演技力が高く評価されている実力派女優・森川葵さんが、「建設LOVE」な新人理系女子「奥村くみ」役を演じています。

詳しくは→CMギャラリー (CM動画)

<http://www.okumuragumi.co.jp/movie/>



「建設LOVE 奥村くみ」編 第1話



「建設LOVE 奥村くみ」編 第2話



「建設LOVE 奥村くみ」編 第3話



「建設LOVE 奥村くみ」編 第4話

(一社)日本建設業連合会けんせつ小町活躍推進表彰で「最優秀賞」を受賞

当社新奈良医療センターJV工事所において結成された、けんせつ小町工事チーム「ならら小町」が、平成30年3月12日に(一社)日本建設業連合会の第3回けんせつ小町活躍推進表彰で「最優秀賞」を受賞しました。

受賞にあたっては、本体工事に付帯するICTシステム工事の工事所長を務める電気設備職の女性職員をリーダーとして、物理的な環境整備だけでなく、工事所内でハラスメント研修を実施し、誰もがいきいきと働くことができる、風通しの良い職場づくりに取り組んだことや、幅広い層を対象とした現場見学会を開催し、男性の多い建設現場においても女性が輝く姿を広くアピールしたことなどが評価されました。当社の受賞は、第1回に「優秀賞」を受賞した、けんせつ小町工事チーム「八幡ひまわり」以来2件目となります。



けんせつ小町活躍推進表彰

技術セミナー開催

第29回技術セミナーを平成29年11月1日に東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催し、顧客をはじめ各方面から約200名の方々にご来場いただきました。

当セミナーは建設業に関わる産官学協調の一環として昭和63年から開催しており、今回は「都市型大規模火災への備えとは」をテーマとし、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科研究科長・教授の室崎益輝氏による基調講演のほか、パネルディスカッションでは、地震火災について具体例やメカニズム、火や煙から命を守り都市機能を維持するための備えについて、さまざまな視点で議論が交わされました。



セミナー会場の様子



パネルディスカッションの様子

当社広島支店新社屋が完成

平成29年3月から建設を進めてきた西日本支社広島支店新社屋が完成し、平成30年3月19日から新社屋で業務を開始しました。

地上7階建ての新社屋は、地震や風による揺れのエネルギーを吸収する制震ダンパーを備える制震建物で、1~3階は当社広島支店の執務スペースとして利用する事務所フロア、4~7階は賃貸共同住宅となっており、収益物件としての機能も備えています。

これを機に、役職員一同気持ちを新たに業務に励み、社業のますますの充実を図るとともに、社会に貢献できるよう努めてまいります。



広島支店新社屋



会社の概況

創業 明治40年2月
設立 昭和13年3月
従業員数 1,967名 (平成30年3月31日現在)
HPアドレス <http://www.okumuragumi.co.jp>
事業所 (平成30年6月28日現在)

本社 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
東京本社 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
技術研究所 〒300-2612 つくば市大砂387
東日本支社 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
西日本支社 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
西日本支社 〒545-6026 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
ハルカスオフィス (あべのハルカス26F)
札幌支店 〒060-0004 札幌市中央区北四条西2-1-18
(邦洋札幌N4・2ビル)
東北支店 〒981-8525 仙台市青葉区堤通雨宮町2-25
東京支店 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1
東関東支店 〒260-0028 千葉市中央区新町18-14 (千葉新町ビル)
横浜支店 〒231-0021 横浜市中区日本大通60 (朝日生命横浜ビル)
北陸支店 〒950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 (プレイス新潟)
名古屋支店 〒453-8555 名古屋市中村区竹橋町29-8
関西支店 〒545-6026 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
(あべのハルカス26F)
奈良支店 〒630-8241 奈良市高天町38-3 (近鉄高天ビル)
神戸支店 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2-2-16 (三宮南ビル)
広島支店 〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-7-22
四国支店 〒760-0023 高松市寿町2-3-11 (高松丸田ビル)
九州支店 〒805-8531 北九州市八幡東区山王2-19-1
福岡支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1-13-8 (九電不動産ビル)
台湾支店 台北市中山区松江路82号7F

連結子会社

奥村機械製作株式会社

〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-5-26

営業種目 建設・産業機械器具の設計・製造・販売・修理

太平不動産株式会社

【本店】 〒108-8381 東京都港区芝5-6-1

【大阪支店】 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

営業種目 不動産取引 土地・建物管理



●取締役

代表取締役社長 奥村 太加典
 取締役 藤岡 誠一
 取締役 水野 勇一
 取締役 山口 慶治
 取締役 丸山 豊
 取締役 小寺 健司
 代表取締役 田中 敦史

取締役 (監査等委員) 阿部 修二
 取締役 (常勤監査等委員) 吉村 晴充
 取締役 (監査等委員) 八代 浩代
 取締役 (監査等委員) 仁尾 秀師
 取締役 (監査等委員) 小寺 哲夫

(注) 阿部修二、八代浩代、仁尾秀師、小寺哲夫の4氏は、社外取締役であります。

●執行役員

副社長執行役員 渡辺 和足
 専務執行役員 飯田 廣臣
 ※専務執行役員 藤岡 誠一
 ※専務執行役員 水野 勇一
 ※専務執行役員 山口 慶治
 ※常務執行役員 丸山 豊
 常務執行役員 宮元 均
 ※常務執行役員 小寺 健司
 ※常務執行役員 田中 敦史
 執行役員 林 孝憲
 執行役員 町田 則幸
 執行役員 原田 治
 執行役員 飯島 俊莊

執行役員 宮崎 宏
 執行役員 田中 晃
 執行役員 岩倉 正明
 執行役員 國行 薫
 執行役員 林 裕之
 執行役員 岡田 章
 執行役員 馬郡 直樹
 執行役員 谷口 裕英
 執行役員 大角 透
 執行役員 川井 伸泰
 執行役員 川谷 澤之
 執行役員 吉見 和行

(注) ※印は、取締役兼務であります。

発行可能株式総数 96,000,000株

発行済株式の総数 45,665,226株

(自己株式5,832,570株を含む)

株主数 16,231名

大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,093	5.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,029	5.1
奥村組従業員持株会	1,499	3.8
株式会社りそな銀行	1,214	3.0
住友不動産株式会社	1,210	3.0
株式会社三井住友銀行	1,113	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,076	2.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	715	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	704	1.8
日本生命保険相互会社	643	1.6

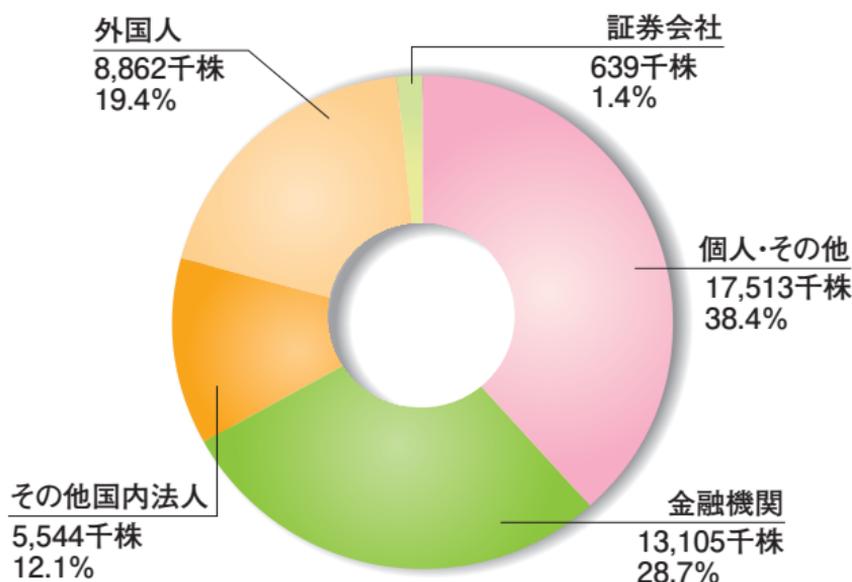
(注) 1. 当社は自己株式5,832,570株を保有しておりますが、上記から除いております。

2. 持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

その他株式に関する重要な事項

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として株式併合（普通株式5株につき1株の割合をもって併合し、発行可能株式総数を480,376,000株から96,000,000株に変更）を実施したため、発行済株式総数は182,660,907株減少し、45,665,226株となっております。また、同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

所有者別分布状況





事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主配当金	毎年3月31日現在の株主様にお支払いいたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ (0120) 782-031
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	当社のホームページに掲載する。

【株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



株式会社 奥村組

〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

TEL.06-6621-1101

ホームページアドレス <http://www.okumuragumi.co.jp>

